

予防接種について

定期予防接種

※対象年齢の「至るまでの間」とは、対象月齢(年齢)になる前日までを示します。
 ※〔 〕内は標準的な接種期間です。

★ 五種混合(DPT-IPV-Hib)

- 対象年齢:生後2か月～90か月に至るまでの間
- 接種回数:第1期初回→生後2か月～7か月に至るまでに開始し、3週間から8週間の間隔を置いて3回接種
 第1期追加→1期初回(3回)接種後、6か月から18か月までの間隔を置いて1回接種

☆ 四種混合(DPT-IPV)

- 対象年齢:生後2か月～90か月に至るまでの間
- 接種回数:第1期初回→3週間から8週間の間隔を置いて3回接種
 第1期追加→1期初回(3回)接種後、6か月以上の間隔を置いて1回接種

☆ ヒブ

- 対象年齢:生後2か月～60か月に至るまでの間
- ※接種を開始する年(月)齢によって接種回数異なります。下表にてご確認ください。

接種開始年(月)齢	生後2か月～7か月に至るまでの間	生後7か月～12か月に至るまでの間	1歳～5歳に至るまでの間
接種回数	4回	3回	1回

★ 小児用肺炎球菌

- 対象年齢:生後2か月～60か月に至るまでの間
- ※接種を開始する年(月)齢によって接種回数異なります。下表にてご確認ください。

接種開始年(月)齢	生後2か月～7か月に至るまでの間	生後7か月～12か月に至るまでの間	1歳～2歳に至るまでの間	2歳～5歳に至るまでの間
接種回数	4回	3回	2回	1回

★ ロタウイルス

- 対象年齢:1価(ロタリックス®)…出生6週0日後～24週0日後までの間
 5価(ロタテック®)…出生6週0日後～32週0日後までの間
- 接種回数:1価(ロタリックス®)…27日以上の間隔を置いて2回接種(経口)
 5価(ロタテック®)…27日以上の間隔を置いて3回接種(経口)
 (いずれも初回接種は出生2か月～14週6日後までに済ませることをお勧めします)

★ B型肝炎

- 対象年齢:生後12か月に至るまでの間
- 接種回数:3回(生後2か月～5か月の間に27日の間隔を置いて2回接種、その後1回目の接種から139日以上(約4か月)の間隔を置いて1回接種)

★ BCG

- 対象年齢:生後12か月に至るまでの間〔生後5か月～8か月の間〕

★ 麻しん・風しん混合(MR)

- 対象年齢・接種回数:第1期…生後12か月～24か月に至るまでの間の1回接種
 (1歳になったら早めに接種しましょう！)
 第2期…小学校入学前の1年間の間に1回接種

第2期は対象時期が近づきましたらご案内いたします！

★ 水痘

- 対象年齢:生後12か月～36か月に至るまでの間
- 接種回数:2回(生後12か月～15か月の間に1回接種、その後6か月～12か月の間隔を置いて1回接種)

★ 日本脳炎

- 対象年齢:第1期…生後6か月～90か月に至るまでの間
 第2期…9歳～13歳に至るまでの間
- 接種回数:第1期初回…6日～28日以上の間隔を置いて2回接種〔3歳～4歳の間〕
 第1期追加…第1期初回(2回)接種後、6か月以上の間隔を置いて1回接種〔4歳～5歳の間〕
 第2期…第1期(追加)接種後、5年～10年の間隔を置いて1回接種〔9歳～10歳の間〕

第1期・第2期ともに対象時期が近づきましたらご案内いたします！

■接種料金:無料(注1※を除く)

注1※対象年齢期間を過ぎてから接種を受けた場合
 ※裏面に記載されている医療機関以外で接種を受けた場合、接種料金は全額自己負担となります。

■接種医療機関

接種医療機関	五種混合(DPT-IPV-Hib)	四種混合(DPT-IPV)	ヒブ	小児用肺炎球菌	ロタウイルス	B型肝炎	BCG	麻しん・風しん混合(MR)	水痘	日本脳炎
余市協会病院 小児科 (☎:23-3126)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
勤医協余市診療所 (内科・小児科) (☎:22-2861)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小嶋内科 (☎:22-2245)										○
よいち整形外科クリニック (☎:48-5000)			○	○		○			○	○
北郷耳鼻咽喉科医院 (☎:23-5533)		○	○	○		○			○	○
森内科胃腸科医院(仁木町) (☎:32-3455)									○	○
古平町立診療所 海のまちクリニック (☎:42-2135)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
積丹町立 国民健康保険診療所 (☎:44-2175)	○	○				○			○	○

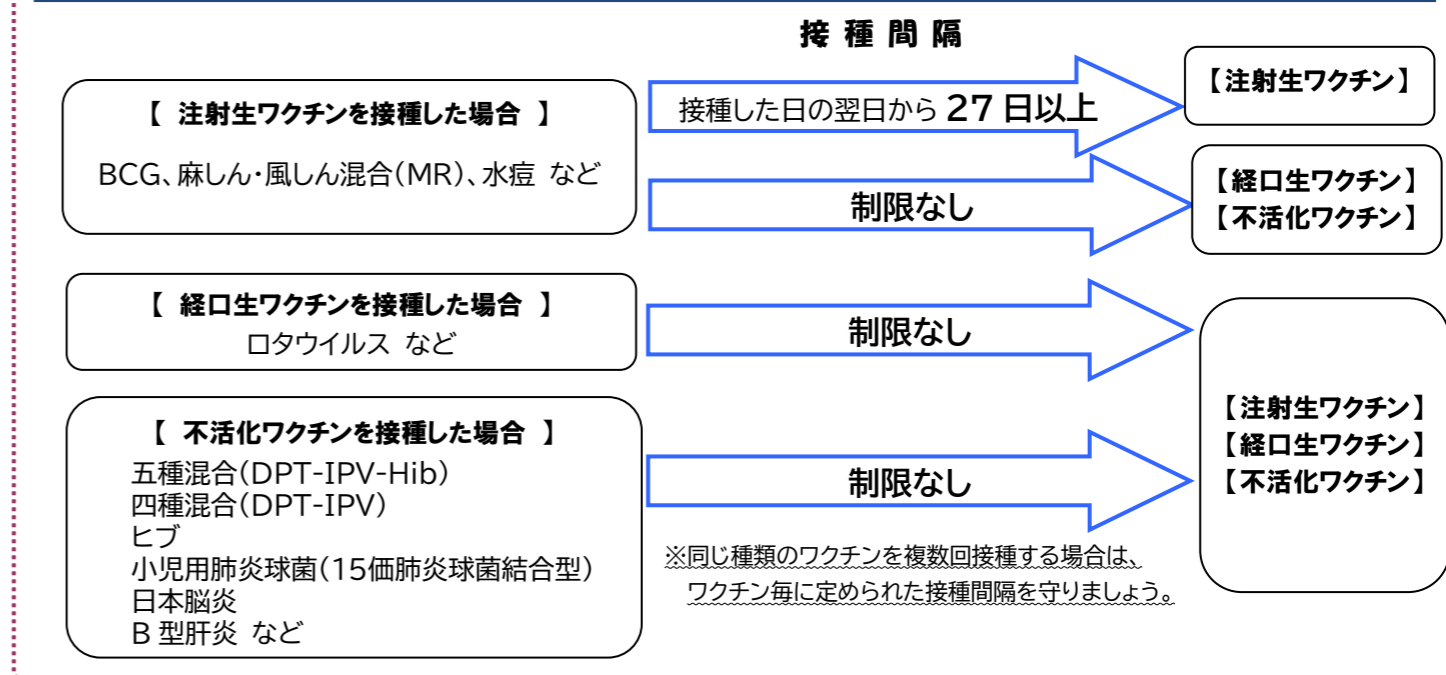
※対象年齢期間を過ぎてから、または上記以外の医療機関で接種を受けた場合、
 料金は全額自己負担となります。特別な事情(里帰り出産等)がある場合は必ず接種前にご相談ください。

※医療機関によって接種日・時間等が異なったり、事前に予約が必要な場合もありますので、
 あらかじめ医療機関へご確認のうえ接種することをお勧めします。

■持ち物

- ・予診票(接種履歴など、事前に記入漏れのないように完成させ、お持ちください。)
- ・母子手帳(接種間隔の確認や、確実に接種記録を残すためにお持ちください。)

「予防接種手帳」をよく読んでから接種しましょう。予防接種の間隔を確かめ、計画的に接種しましょう。



予診票が紛失等によりお手元がない場合はご連絡ください。